

- ・3月につくばで日本地学オリンピック本選の予定
- ・3/31に支援委員会開催予定（地質学会事務局）
- 10. 県の石支援委員会（辻森）
 - ・とくになし
- 11. 125実行委員会（佐々木）
 - ・最終報告書、アーカイブ情報の取りまとめ作業中.

以上

2019年 3月23日
 一般社団法人日本地質学会執行理事会
 会長（代表理事）松田博貴
 署名人 執行理事 斎藤 眞

2018年度第8回執行理事会議事録

期 日：2019年3月23日（土） 13:00～18:00
 場 所：地質学会事務局

出席者：松田会長、佐々木副会長、平田副会長、斎藤常務理事、安藤、磯崎、大藤、緒方、岡田 小宮、坂口、田村、辻森、中澤、西、廣木、星（事務局）橋辺

欠席者（委任状提出あり、カッコ内は委任者）：ウォリス

*定足数（12、委任状含む）に対し、出席者17名、委任状1名、合計18名の出席。

*2月議事録の確認

I 審議事項

- 2018年度事業実施報告概要（松田）
12月理事会提出の資料に変更箇所を訂正して承認した。
- 2019年度事業計画・予算案の検討（松田、西・緒方）
 - ・事業計画案は、12月理事会提出の資料に変更箇所を訂正して承認した。
 - ・決算、予算案について説明の後、会の財務状況についての現状について検討した。
 - ・現時点の予算案では赤字が見込まれるため、できる限りの支出抑制をさらに検討したうえで、引当金を充当した単年度収支ゼロの予算案を理事会に提出する。
- 事務局の働き方改革について（佐々木・緒方）
 - ・事務局職員の勤務実態の状況から、負担軽減策を行っていく必要性を再確認した。
 - ・就業規則の改定、労基法36協定の締結等、事務局体制の整備を進めていく。
 - ・改正案等については今月末までに意見をメールで聴取、検討した上、4/6の理事会で承認を受ける。なお、1月の執行理事会で承認されたパート事務局員就業規則（2019年1月1日施行）については、現時点では理事会に正式に上程されていないので、今回

- の「契約職員規程」策定に統合し廃止する。
- ・日本地質学会事務局就業規則の改正
- ・日本地質学会契約職員規程の策定
- 4. 執行体制の見直しについて（佐々木）
 - ・委員会等の活動の現状や問題点等の把握を進めているので、今期体制の中で整理見直しを着実に進める。
- 5. “学術大会に関する緊急時対応について”改定案（松田）
 - ・現在学会HPに規則類（指針2016.1.23一部改正）の一つとして掲載されているが、昨年度、本年度の経験から明らかとなった問題やケースを考慮し、条文を修正して改定する。
- 6. 年会発表登録・プログラムの作成システムと講演要旨の公表方法についての検討（岡田）
 - ・講演要旨集の Online（Confit）システムの採用について、費用や効果、会員サービスとしての有効性について検討し、来年度に運用の可能性を検討する。山口大会は従来通り印刷物の発行とする。ただしその検討を行っている旨は山口大会でも広報しておく。
- 7. 地質学雑誌の投稿数増加に向けた方策（案）（大藤）
 - ・投稿数増加策や雑誌としての拡充策が幾つも提案されたので、種々検討の上早期に進めることにした。これに伴う地質学雑誌投稿編集出版規則の改正案については、次回の理事会に提案することとした。
- 8. 地質学雑誌のあり方についてのアンケートを受けての方針（斎藤）
 - ・報告文案を検討して修正の上理事会に報告する。
- 9. 理事会審議事項について
 - 1) 2018年度事業実施概要、2) 決算概算、3) 2019年度事業計画、4) 2019年度予算案
 - 5) 各賞受賞者の決定について、6) 名誉会員候補者の選出について、7) 総会議案の決定：1号 2018年度事業報告・決算報告、2号 2019年度事業計画3号 2019年度予算案、4号 名誉会員の選出
- 10. 総会関連スケジュールの確認と決定
5月25日（土）
 - 10:00-10:30 執行理事会（総会事前打ち合わせ程度）
 - 11:00-12:30 フォトコン表彰式
 - 14:00-15:30 総会
 - 16:00-17:00 理事会
- 11. 平成31年度大学入試センター試験の地学関連科目に関する意見書（廣木）
 - ・本年度の試験結果の報告を検討の上、文案通り意見書を提出することを承認した。
- 12. 東赤石山の山小屋「赤石山荘」の経営存続のために、新居浜市および愛媛県への移管要請活動を行う、関係者からの学会への支援要請の件（ウォリス、代松田）
 - ・学会としては要望書の提出、活動紹介をニュース誌に掲載するのは可能であるが、署

名については関係者でやってもらうことが望ましく、学会としては関与しないこととした。

13. Island Arc の編集長の公募と委員長への謝金支給について（田村）
 - ・編集長を選出・交代する方法について、公募案と編集長を引き受けてもらいやすくするための謝金支給に関して提案があったが、継続審議とした。

II 報告事項

- 全体的報告
 - 事務局員の採用について
前回執行理事会以降の、採用活動状況について報告があった（緒方）。
 - 一家に1枚のポスター「日本列島7億年」完成報告（辻森）
 - ・完成版と文科省での記者発表（3/27）の紹介があり、その直後に学会としてのプレスリリース（投げ込み）を実施することを確認した。会員にもジオフラッシュを通じて報告することとした。（その後、4/9（火）への日程変更の連絡あり）
 - ・4/21（日）に日本科学館主催でお披露目のイベントが実施されるが、辻森、磯崎理事が参加し、学会としてもWeb教材のデモンストレーションなどで協力要請に応える。産総研も展示協力をする。
 - ・ポスターは学会に対し1000枚（A 2判）が配布されたが、年会や後援していただいた学会等の行事で配布することも含め、学会員への情報提供や、アウトリーチのために増刷することとした。
 - 大型研究の提案フォーラムのドラフト（小宮）
 - ・「宇宙・地球研究資料のアーカイブ化とキュレーションシステムの構築」として申請するので、申請内容について27日頃までに修正案を募り、取りまとめて提出する。
 - その他
 - 運営財政部会：総務委員会（緒方・西）<共催・後援依頼、他団体の募集等>
 - 1) 三浦半島活断層調査会（会長：茅野孝幸）地質の日記念講座「三浦活断層群主部、北武断層」（2019/05/04）の後援依頼を承諾した。
 - 2) 日本粘土学会第63回粘土科学討論会（2019/09/10-12、埼玉大学）の後援を承諾した。
 - 3) 第19回こどものためのジオカーニバル（2018/11/3-4、後援）の実施報告：参加者3,100名（小中高生と保護者、教育関係者、セミナー4、ブース15（うち地質分野9）。なお、芝川会員によりWeb教材の普及活動も実施された。
 - 4) 山口大学理学部サイエンスワールド2018（2018/10/27、後援）の実施報告：来場者1,129 院生、学生による名企画展示ブース13、県内4博物館の展示ブース、学内科学体験ツアーコース2など、日本化学会の夢化学21も同時開催。

5) 2019年度日本学術振興会賞候補者の推薦依頼(受付期間4/4-9) →HP, geo-flash, Newsに掲載。日本国籍か5年以上日本国内研究機関に籍を置き、今後も継続予定の外国人、45歳未満博士号取得者、女性候補者の推薦歓迎。

6) コスモス国際賞受賞候補者推薦依頼(推薦切4/12) →geo-flash掲載。国籍、性別、年齢いづれも不問、ただし現存者。

<その他>

・事務室賃貸の契約(井桁金網(株))を更新(2019/4/1~2021/3/31)。賃料変更なし、更新料271,404円(税込)

<会員>

1) 今月の入会者(正会員 7名)

正会員(4名) 組坂健人 土屋裕也 中山健太郎 楠田哲也

正(学部学生割引)会員(3名) 永田有里奈 瀬川いづみ 浅野航平

2) 今月の退会者(正会員3名)

中村めぐみ 赤瀬川幸治 影山典史

3) 今月の逝去者(3名)

名誉会員 吉田 尚(3/1)

4) 2019年2月末日会員数

賛助:27, 名誉:52, 正会員:3601(正会員:3416, 正(院割)会員:176, 正(学部割)会員:9), 合計3680(昨年比-57)

5) 2019年度50年会員顕彰者

<会計>

・決算予想および2019年度予算案:審議事項とする。

3. 広報部会:広報委員会(坂口・小宮)

1) フォトコンテストの審査結果:最優秀賞1, 優秀賞2, ジオパーク賞1, 地質学会会長賞1, ジオ鉄賞1, スマホ賞1, 入選5, 佳作4(賞金なし)

2) 一家に1枚ポスター「日本列島7億年」のプレスリリース:文科省でのプレス発表の日時、3月27日(水)14時の予定。学会はその後に投げ込みをし、geo-flashで会員にも知らせる。(その後、4/9(火)への日程変更の連絡あり)

4. 学術研究部会(磯崎・ウォリス・岡田・辻森)

(1) 行事委員会(岡田)

1) 年会発表登録・プログラムの作成システムと講演要旨の公表方法について

・現在は年会発表登録までを採用しているシステムconfitの全機能を採用するとした場合に関連して、講演要旨のオンライン化についての検討。

・J-STAGEへの公開にあたりこれまで無料であった掲載作業が、J-STAGEのデータ受入形式の変更により今後は18万円ほどの有料となり、これまで同様の利用で冊子体を作成した場合はこの分の経費が上乘せとなる。

・経費的には、confitの全機能を採用し要旨をオンライン化する場合と、従来どおりでオンライン公開作業の経費を追加した場合とでは殆ど変わらない見込。ただし、前者の

場合にはプログラム作成における行事委員会及び事務局の仕事の負担軽減も見込まれるが、冊子の要望がある場合については、別途検討の必要がある。

2) レギュラーセッションの現状

(2) 国際交流委員会(ウォリス)

タイ訪問は3月28日-31日、タイ地質学会とDepartment of Mineral Resources 代表と会谈する予定。

(3) JIS, 標準担当(中澤)

5. 編集出版部会(大藤・田村)

(1) 地質学雑誌編集委員会(大藤)

1) 編集状況報告(3月20日現在)

・2019年投稿論文:16編[内訳]総説1(和文), 論説8(和文7・英文1), 報告3(和文2・英文1), 巡検案内書3, 口絵1(和文1), 査読中:26, 受理済み:27(うち特集号10)

・125巻3月号:通常号5編 60頁, 3/22校了予定。

・125巻4月号:通常号5-6編 約60頁, 入稿準備中。

2) 125周年記念特集号状況(2019年3月20日現在)

3) 地質学雑誌の投稿数増加に向けた方策を検討

(2) アイランドアーク編集委員会(田村)

出版状況報告 資料参照説明

(3) 企画出版委員会(小宮)

特になし

6. 社会貢献部会(星・廣木・中澤)

地質の日:街中ジオ散歩

7. 地質技術者教育委員会

・JABEEは地球資源分野で運用中のプログラムが9大学であり、ピーク時の11プログラムから減少している。

・JABEE審査における地質系大学教員の審査員が少ないと、「地球・資源およびその関連分野運営委員会」で指摘されているので、地質学会としてできる限り審査員を出すようにすべきである。

・3月5日開催の土質・地質技術者生涯学習協議会に佐々木副会長が出席した。

・CPD(継続教育)については、技術士資格の更新システム導入のために、文科省認可のCPD登録法人設置の動きがある。地質学会が加盟する「土質・地質技術者生涯学習協議会」の活動にも影響があるので、今後動向を注視する必要がある。

・当委員会は山本前副会長の急逝後、委員長を決めておらず、また委員会の再編もされていないので、これまで委員長代理的な動きをされてきた天野理事と執行体制を見直し、担当理事である佐々木副会長とで委員会再編を行う予定である。

8. ジオパーク支援委員会(平田)

・特になし

9. 地学オリンピック支援委員会(星)

・特になし

10. 県の石支援委員会(辻森)

・特になし

11. 125実行委員会(佐々木)

・4月17日開催予定の最後の委員会で、125周年事業のまとめを行う予定。

・ニュース誌に掲載された125周年関連の記事は、2014年4月号から2019年1月号までで50編余りとなる。これらを集めてアーカイブス集として保存し、今後の周年事業企画時の基礎資料としたい。

・125周年関連の予算については、緒方理事が取りまとめ中。寄付が予想以上に多く集まったことや、9月6日の地震のため記念の国際シンポジウムが実施できなかったことなどから、経費的には好ましい決算となりそう。その結果、学会の財産であるいろいろな引当金からの繰入額をかなり少なくすることができそうである。

12. 名誉会員推薦委員会(佐々木)

・名誉会員候補者の推薦は、2019年2月9日の締め切りまでに1名あった。名誉会員推薦委員会での検討を行った後、同1名を名誉会員候補者として、推薦理由を付して4月6日の理事会に推薦することにした。

以上

2019年4月6日

一般社団法人日本地質学会執行理事会
会長(代表理事) 松田博貴
署名人 執行理事 斎藤 真

2018年度第9回執行理事会議事録

期日:2019年4月6日(土)11:00~13:00

場所:北とびあ 902会議室

出席者:松田会長, 佐々木副会長, 平田副会長, 斎藤常務理事, 安藤, ウォリス, 大藤, 緒方, 岡田, 小宮, 坂口, 中澤, 西, 廣木, 星, 狩野, 杉田, (事務局)橋辺

欠席者(委任状提出あり, カッコ内は委任者):磯崎, 田村, 辻森

*定足数(12, 委任状含む)に対し, 出席者15名, 委任状3名, 合計18名の出席

*3月議事録を承認。

I 審議事項

1. ユネスコ世界ジオパーク国内推薦申請にかかる机上審査について(斎藤):日本ジオパーク地域からの世界ジオパーク申請に向けて、国内のピアレビュー手続きについて、「日本地球科学評価機構」の設置も含めて準備を始める。平田, 斎藤が主に担当する。

2. 東赤石山の山小屋「赤石山荘」の存続支援要請に応え、新居浜市および愛媛県へ提出する要書の確認とNews誌記事について(松田・ウォリス):要望書の文案を確認し了承した。微修正をして捺印後提出する。News